

[トピックス](#) [分野別情報](#) [新着情報](#) [委員会からのお知らせ](#) [リスク評価](#) [意見募集等](#) [意見交換等](#) [用語集](#) [法令等](#) [リンク集](#)

[トップページ](#) > [委員会からのお知らせ](#) > [開催実績](#) > 第284回食品安全委員会議事概要

## 委員会からのお知らせ

### 第284回 食品安全委員会議事概要

## ■第284回食品安全委員会会合

日時:平成21年4月30日(木)14:00~15:25

場所:食品安全委員会 大会議室

傍聴者数:29名

## 議事概要:

(1)食品安全基本法第24条に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

## ○動物用医薬品

1)豚サーコウイルス(2型)感染症(1型-2型キメラ)(デキストリン誘導体アジュバント加)不活化ワクチン(スバキシン PCV2/スバキシンPCV2 FDAH)

・農林水産省から説明。

・動物用医薬品専門調査会で審議することとなった。

・主成分が遺伝子組換え技術を用いて生産されており、遺伝子組換えに関する知見も必要となることから、遺伝子組換えの専門家の意見を聞きながら審議することとなった。

\*豚サーコウイルス1型(非病原性)の一部遺伝子を豚サーコウイルス2型(病原性)の遺伝子に組換えたウイルス不活化液を主剤とする豚用の不活化ワクチンです。

2)ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合生ワクチン(アビテクトNB/TM)

・農林水産省から説明。

・動物用医薬品専門調査会で審議することとなった。

\*ニューカッスル病及び鶏伝染性気管支炎の予防を目的とした鶏用の生ワクチンです。

3)性腺刺激ホルモン放出ホルモン・ジフテリアトキソイド結合物を有効成分とする豚の注射剤(インプロバック)

・農林水産省から説明。

・動物用医薬品専門調査会で審議することとなった。

\*豚に対する免疫学的去勢効果を目的とした注射剤です。

## ○遺伝子組換え食品等

4)pCHI株を利用して生産されたキチナーゼ

・厚生労働省から説明。

・遺伝子組換え食品等専門調査会で審議することとなった。

\*カニ殻やエビ殻から調整されたキチンの加水分解に使用される酵素です。

5)高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1(食品・飼料)

・厚生労働省及び農林水産省から説明。

・遺伝子組換え食品等専門調査会で審議することとなった。

\*オレイン酸の含有量を高めたダイズです。

(2)新開発専門調査会における審議状況について

1)「グルコバスター カプセル」に関する意見・情報の募集について

・評価書(案)について、意見・情報の募集手続に入ることが了承された。

\*0.19小麦アルブミンを関与成分とし、食後の血糖値が気になる方に適する旨を特定の保健の用途とするカプセル形態の食品です。

(3)食品安全基本法第24条に基づく委員会の意見の聴取について

1)イソチアニル

・イソチアニルの一日摂取許容量(ADI)を0.028mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知することとなった。

\*殺菌剤で、水稻への新規農薬登録申請がされています。

2)アガリクスを含む製品(製品名:キリン細胞壁破砕アガリクス顆粒)

3)アガリクスを含む製品(製品名:仙生露顆粒ゴールド及び

アガリクスK2ABPC顆粒)

・「厚生労働省から提出された資料では、データが不足していることから、食品健康影響評価を行うことは困難であるとの結論に至った。

しかしながら、厚生労働省においては引き続き、食品衛生上の危害の発生を防止するために必要な情報を収集すべきである。」との審議結果が了承され、リスク管理機関(厚生労働省)へ通知することとなった。

\*アガリクス:キノコ的一种です。(和名:ヒメマツタケ、学名:Agaricus blazei Murrill)

(4)「食品安全委員会の改善に向けて」に基づく改善の取組について

・事務局から報告。

(5)米国の飼料規制強化の施行及び猶予期間の設定について

・農林水産省から報告。

(6)その他

1)新型インフルエンザに関するこれまでの経緯及び委員会の対応等について

・事務局から報告。

〒100-8989 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー6階 TEL 03-5251-9229 FAX 03-3591-2237

Copyright © 2006 Food Safety Commission. All Right Reserved.

 [プライバシーポリシー](#)